



平成 30 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 日本精蠟株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員 安藤 司
(コード番号 5010 東証第2部)
問 合 せ 先 取締役 執行役員総務部長 土屋 直紀
(TEL 03-3538-3061)

平成 29 年 12 月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

本日公表の平成 29 年 12 月期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）決算短信の実績値が、平成 29 年 2 月 15 日に公表しました業績予想に比較して差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期通期業績予想と実績値との差異（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当り 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 29 年 2 月 15 日発表)	24,000	1,200	1,000	600	33 円 57 銭
実績値 (B)	26,649	1,367	1,152	673	37 円 70 銭
増減額 (B-A)	2,649	167	152	73	—
増減率 (%)	11.0	14.0	15.2	12.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	23,318	846	580	243	13 円 57 銭

差異の理由

ワックス販売は国内販売では堅調に推移し、輸出販売では米国向け液状輸出が増加したため売上高の増加となりました。また、重油販売はワックス留分の多い原料によるワックス取得率アップにより数量減少となるも、原油価格の上昇が販売単価を押し上げたため、売上高の増加となりました。この結果、売上高 26,649 百万円(予想値 24,000 百万円)、営業利益 1,367 百万円(同 1,200 百万円)、経常利益 1,152 百万円(同 1,000 百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益 673 百万円(同 600 百万円)の実績となりました。これにより、実績値が前回（平成 29 年 2 月 15 日）公表の業績予想値を上回り、開示基準に該当いたしました。

以上